

愛媛県内の状況

【 R3.3.9 9時現在 】

<封じ込め・終了事例>

事例	公表日	検査数	陰性	陽性	変異株陽性	関係者調査	PCR検査	健康観察
対処事例①:322事例 ※193、252、262:欠番		9,927	8,889	1,038		●	●	●
316事例目 (今治保健所)	2/18	20	18	2	+	●	●	●

<囲い込み事例>

対処事例②:3事例		33	29	4		●	●	○
317事例目 【仕事関係・今治】	2/19	(12) 84	(12) 70	14	+	●	●	○
322事例目 【職場内④・今治】	2/20	36	28	8	+	●	●	○

<調査中事例>

新 新規事例 1事例	3/9	(1) 1	0	(1) 1		○	○	○
上記以外	PCR検査	8,864	8,864			-	-	-
	抗原検査	15,058	15,058			-	-	-
合計		(13) 34,023	(12) 32,956	(1) 1,067				

【凡例】 ●：接触者特定済、検査完了、健康観察終了
○：接触者特定中、検査中、健康観察中

※上記の（ ）内の検査数は、対応中の事例に関して昨日実施した検査並びに衛生環境研究所及び地域外来・検査センターで実施した検査の件数です。
このほか、診療・検査医療機関でも別途、検査が実施されています。
診療・検査医療機関での検査数は毎週金曜日に1週間の合計数を計上します。

	変異株PCR検査結果(県実施) ^{※1}				ゲノム解析結果(国実施) ^{※2} (確定には至らなかったものを含む)				【参考】 変異株陽性 事例数 (陽性者数計)
	検査数	変異株 陰性	変異株 陽性	判定不能 ^{※3}	イギリス	南アフリカ	ブラジル	その他	
変異株検査	111	100	9	2	4	0	0	0	3事例 (事例合計24人)

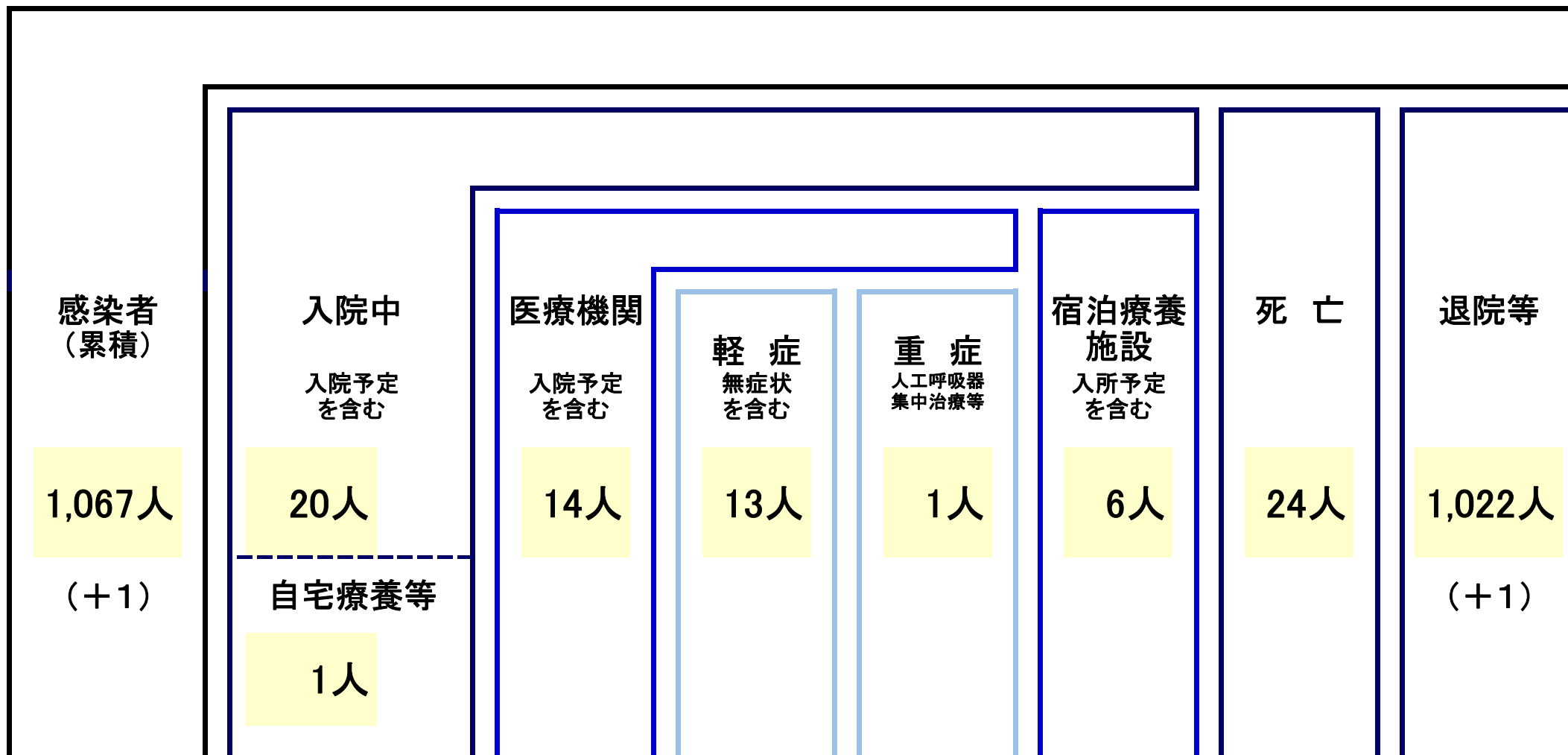
※1 変異株PCR検査は、新型コロナウイルスの陽性が確認された方の中から抽出して実施しています。

※2 ゲノム解析結果には、国立感染症研究所による解析で特定の変異株の特徴がみられたが確定には至らなかった件数を含めています。

※3 「判定不能」は、ウイルス量が少ない等の理由により、変異株であるかどうか判定ができなかった件数を示しています。

県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生状況について

検査陽性者の状況（3月9日 9時現在）



検査実績（管轄保健所別）

【R3.1.31現在】

保健所	市 町	管内人口 (R元.4.1)	検査件数	陰 性	陽 性	陽性率
四国中央	四国中央市	87,005	918	865	53	5.8%
西 条	新居浜市、西条市	228,516	2,056	2,023	33	1.6%
今 治	今治市、上島町	166,114	2,706	2,648	58	2.1%
中 予	伊予市、東温市、 久万高原町、 松前町、砥部町	130,825	2,027	1,973	54	2.7%
八幡浜	八幡浜市、大洲市、 西予市、内子町、 伊方町	140,128	2,962	2,892	70	2.4%
宇和島	宇和島市、松野町、 鬼北町、愛南町	110,631	1,529	1,509	20	1.3%
松山市	松山市	511,649	14,861	14,154	707	4.8%
計		1,374,868	27,059	26,064	995	3.7%

※先月の月末時点の検査実績(管轄保健所別)については、毎月下旬頃に更新する予定です。

「花見」の注意事項

- 家族・友人・職場の同僚など、日頃会っている身近な範囲で、大人数、長時間を避けて
- 「宴会」「カラオケ」は避けて
(大声になるなど感染リスクの高い行動は控える)
- 体調不良の方は参加を控えて
- 会話時はマスク、グループ間は適度な距離を
- 大皿は避け、食器は個別、使い回ししない
- 感染防止対策（手洗い、手指消毒等）の徹底を



「県管理公園」の対応

- HPや掲示板等で周知
- 定期的な見回りを実施

〔主な県管理公園〕

- 道後公園（松山市）
- えひめ森林公園（伊予市）
- 南予レクリエーション都市公園（愛南町）など

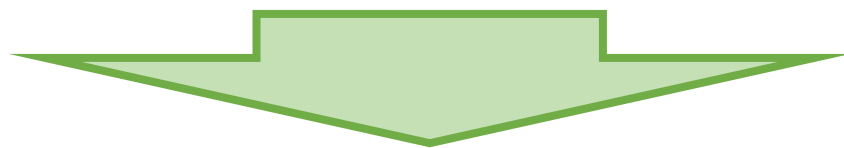
※市町にも同様の対応を依頼

高齢者福祉施設等における新型コロナ 自主検査補助対象者の拡充

【現行の補助対象者】

- ① 新規入所する利用者
- ② やむを得ない理由により、感染拡大地域（緊急事態措置又はまん延防止等重点措置を実施すべき区域）と往来した職員
- ③ その他県が必要と認める利用者及び職員

年度末は、引越しや就職など人の移動が増大



補助対象者を拡充

期間：3/15（月）～4/18（日）

- ① やむを得ない理由により、**本人又は同居者（帰省中の家族を含む）が、感染が懸念される地域（※）と往来した職員**

※令和3年2月末時点の緊急事態宣言対象地域
（10都府県）

東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、岐阜県、
愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県

- ② 県外から転勤又は就職した職員

国のワクチン供給の見通し（3/9現在）

※赤字：3/5河野大臣会見で判明

ポイント

- EUの輸出承認が前提
- 5月前半には医療従事者等の全国総数約480万人の全量供給の見通し
- 高齢者分のワクチンは6月末までに全量供給の見通し
- 6回/バイアル 接種できる注射器の調達準備も鋭意進められている

【医療従事者等向けワクチン】 本県対象者数 約5万3千人 ※3/9現在

○第1弾（本県の割当）

1回目接種分（約1万2千人分）	2回目接種分（約1万2千人分）
・ 3/1の週 500箱（6箱）	・ 3/22の週 500箱（6箱）
・ 3/8の週 500箱（6箱）	・ 3/29の週 500箱（6箱）

注射器の取扱い

5回/バイアルの注射器

○第2弾 全国の数

1回目接種分	2回目接種分
・ 3/22の週 200箱	・ 4/12の週 200箱
・ 3/29の週 200箱	・ 4/19の週 200箱

3月中は5回/バイアル
4月以降は調整中

○第3弾 全国の数

1回目接種分	2回目接種分
・ 4/12の週 1200箱以上	・ <u>5月前半には</u>
・ 4/19の週 1200箱以上	全量供給

4月以降は調整中

※ 4月中に当初の想定約370万人分の医療従事者等の1回目分の供給が完了の見込み
1箱約1千人分（1バイアルで5回接種）

4月中の各市町への高齢者向けワクチン配分の考え方

○ 県内へのワクチン供給と市町への配分

供給時期	供給量	配分先
4/5の週	2箱（約1,000人2回接種分）	<u>松山（1箱）、宇和島（1箱）</u>
4/12（月）から、松山市及び宇和島市において高齢者接種を開始。		
4/12の週	10箱（約5,000人2回接種分）	四国中央、新居浜、西条、今治、松山、八幡浜、宇和島
4/19の週	10箱（約5,000人2回接種分）	新居浜、西条、今治、松山、伊予、東温、大洲、西予
4/26の週	20箱（約10,000人2回接種分）	20市町
合計	42箱（約21,000人2回接種分）	—

○ ワクチン配布による各市町の接種可能人数

市町	高齢者人口 (注)	配送箱数				バイアル (瓶)	接種可能人数
		4/5 の週	4/12 の週	4/19 の週	4/26 の週		
四国中央市	27,780		1		1	390	975
新居浜市	38,089		1	1	1	585	1,462
西条市	34,790		1	1	1	585	1,462
今治市	54,911		2	1	1	780	1,950
上島町	3,051				1	195	487
松山市	141,905	1	3	3	1	1,560	3,900
伊予市	12,182			1	1	390	975
東温市	10,263			1	1	390	975
久万高原町	3,865				1	195	487
松前町	9,396				1	195	487
砥部町	6,874				1	195	487
八幡浜市	13,199		1		1	390	975
大洲市	15,208			1	1	390	975
西予市	15,837			1	1	390	975
内子町	6,449				1	195	487
伊方町	4,229				1	195	487
宇和島市	28,755	1	1		1	585	1,462
松野町	1,761				1	195	487
鬼北町	4,540				1	195	487
愛南町	9,086				1	195	487
総計	442,170	2	10	10	20	8,190	20,469

(注) 令和2年4月1日現在の住民基本台帳に基づく数値

※ 5月以降の配分は、高齢者人口比率を加味して市町間で整合がとれるよう調整

※ 1箱195バイアル×5回分÷2回接種 = 487人（2回接種分）